

## 平成26年度標茶町病院事業会計決算審査意見

### 第1 審査の概要

#### 1 審査の対象

平成26年度標茶町病院事業会計決算

#### 2 審査の期間

平成27年6月24日

#### 3 審査の書類

(1) 決算報告書

(2) 財務諸表

ア 損益計算書

イ 剰余金計算書

ウ 剰余金処理計算書

エ 貸借対照表

(3) 附属書類

ア 事業報告書

イ キャッシュ・フロー計算書

ウ 収益費用明細書

エ 固定資産明細書

オ 企業債明細書

#### 4 審査の方法

審査にあたっては、送付を受けた決算報告書、財務諸表及び事業報告書等の附属書類について、関係諸帳簿の照合とともに、関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績並びに財政状況を適正に表示されているか否か、予算執行の適否等についても内容説明を求め審査を実施した。

### 第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表等は、関係法令に準拠して作成されており、決算の諸計算はいずれも正確であるとともに、平成27年3月31日現在における財政状況及び経営成績を適正に表示されているものと認められた。

財務事務については、総体として適正に執行されたものと認められる。

審査結果の概要は以下のとおりである。

#### 1 予算執行状況

本年度の予算執行状況は次表のとおりである。

## ( 1 ) 収益的収入及び支出について

## 収益的収支の状況

(単位：円・%)

区分	予算額	決算額	執行率		予算額に比べ決算額の増減・不用額	
			H26年度	H25年度		
収入	医業収益	581,767,000	(581,219,855) 576,672,809	(99.9) 99.1	(103.7) 103.2	( 547,145) 5,094,191
	入院収益	326,120,000	(322,803,040) 322,803,040	(99.0) 99.0	(106.5) 106.5	( 3,316,960) 3,316,960
	外来収益	194,370,000	(197,101,991) 197,082,532	(101.4) 101.4	(100.3) 100.2	(2,731,991) 2,712,532
	その他医業収益	61,277,000	(61,314,824) 56,787,237	(100.1) 92.7	(102.2) 97.5	(37,824) 4,489,763
	医業外収益	596,545,000	(550,410,805) 550,147,429	(92.3) 92.2	(89.1) 89.1	( 46,134,195) 46,397,571
	受取利息配当金	4,848,000	(4,841,000) 4,841,000	(99.9) 99.9	(99.8) 99.8	( 7,000) 7,000
	他会計補助金	230,479,000	(185,479,000) 185,479,000	(80.5) 80.5	(70.3) 70.3	( 45,000,000) 45,000,000
	他会計負担金	350,095,000	(350,095,000) 350,095,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) 0
	患者外給食収益	2,160,000	(1,511,200) 1,399,259	(70.0) 64.8	(78.1) 74.4	( 648,800) 760,741
	長期前受金戻入	5,207,000	(5,206,731) 5,206,731	(100.0) 100.0	(0.0) 0.0	( 269) 269
	その他医業外収益	3,756,000	(3,277,874) 3,126,439	(87.3) 83.2	(85.4) 83.3	( 478,126) 629,561
	収入合計	1,178,312,000	(1,131,630,660) 1,126,820,238	(96.0) 95.6	(96.1) 95.9	( 46,681,340) 51,491,762
支出	医業費用	1,097,507,000	(1,053,221,376) 1,033,461,344	(96.0) 94.2	(95.9) 94.8	(44,285,624) 64,045,656
	給与費	735,814,000	(713,735,600) 713,413,872	(97.0) 97.0	(96.6) 96.5	(22,078,400) 22,400,128
	材料費	120,000,000	(105,327,799) 97,525,740	(87.8) 81.3	(92.8) 88.3	(14,672,201) 22,474,260
	経費	163,395,000	(157,057,048) 145,714,362	(96.1) 89.2	(93.9) 89.6	(6,337,952) 17,680,638
	減価償却費	72,663,000	(72,660,765) 72,660,765	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(2,235) 2,235
	資産減耗費	225,000	(174,850) 174,850	(77.7) 77.7	(62.7) 62.7	(50,150) 50,150
	研究研修費	5,410,000	(4,265,314) 3,971,755	(78.8) 73.4	(86.1) 82.2	(1,144,686) 1,438,245
	医業外費用	46,832,000	(46,443,302) 61,722,914	(99.2) 131.8	(99.2) 120.1	(388,698) 14,890,914
	支払利息及び企業債取扱諸費	41,432,000	(41,431,202) 41,431,202	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(798) 798
	患者外給食材料費	1,800,000	(1,457,000) 1,349,074	(80.9) 74.9	(80.9) 77.0	(343,000) 450,926
	消費税及び地方消費税	3,600,000	(3,555,100) 3,555,100	(98.8) 98.8	(100.0) 100.0	(44,900) 44,900
	雑損失	0	(0) 15,387,538	(0.0) 0.0	(94.9) 72,964.1	(0) 15,387,538
	特別損失	33,473,000	(31,022,283) 31,022,283	(92.7) 92.7	(99.8) 99.8	(2,450,717) 2,450,717
	過年度損益修正損	0	(0) 0	(0.0) 0.0	(99.8) 99.8	(0) 0
	その他特別損失	33,473,000	(31,022,283) 31,022,283	(92.7) 92.7	(0.0) 0.0	(2,450,717) 2,450,717
	予備費	500,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(500,000) 500,000
	支出合計	1,178,312,000	(1,130,686,961) 1,126,206,541	(96.0) 95.6	(96.1) 95.8	(47,625,039) 52,105,459
(差引額) 当年度純利益		(943,699) 613,697				

&lt;注&gt; 上段( )内の数値並びに割合は消費税込の金額

本年度の予算執行状況は、収入においては予算額1,178,312,000円に対し、決算額は1,131,630,660円、執行率96.0%で、予算額に対し差引46,681,340円の減となっている。

支出については予算額1,178,312,000円に対し、決算額は1,130,686,961円で、執行率は96.0%である。

不用額47,625,039円の内訳は、医業費用では給与費、材料費、経費等で44,285,624円、医業外費用が388,698円、特別損失が2,450,717円、予備費は500,000円となっている。

(2) 資本的収入及び支出

収入においては、20,000円に対し決算額は0円である。

支出については、予算額99,785,000円に対し、決算額は99,707,194円で執行率は99.9%である。支出額に対する収入額が99,707,194円不足しているが、この不足額は、減債積立金処分額で495,889円、過年度分損益勘定留保資金99,211,305円で補てんされている。支出の内容は、建設改良費9,482,068円、企業債償還金が90,225,126円となっている。

資本的収支の状況

(単位：円・%)

区分	予算額	決算額	執行率		予算に比べ決算額の増減及び不用額	
			H26年度	H25年度		
収入	固定資産 売却代金	20,000	(0)	(0.0)	(0.0)	( 20,000)
			0	0.0	0.0	20,000
資本的収入合計		20,000	(0)	(0.0)	(0.0)	( 20,000)
			0	0.0	0.0	20,000
支出	建設改良費	9,559,000	(9,482,068)	(99.2)	(100.0)	( 76,932)
			9,152,066	95.7	95.2	406,934
	企業債償還金	90,226,000	(90,225,126)	(100.0)	(100.0)	( 874)
			90,225,126	100.0	100.0	874
資本的支出合計		99,785,000	(99,707,194)	(99.9)	(100.0)	( 77,806)
			99,377,192	99.6	99.8	407,808
差引額			( 99,707,194)			
			99,377,192			

<注> 上段( )内の数値並びに割合は消費税込の金額

(3) その他の予算事項

地方公営企業法施行令第17条に規定する予算に係る主な事項の執行状況は次のとおりである。

ア 起債の利率及び償還の方法は、予算に定められた範囲で執行されている。なお、本年度において企業債は発行されていない。

イ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費は、給与費735,814,000円、交際費1,200,000円であるが、いずれも予算の範囲内で執行されている。

ウ 他会計からの繰入金

一般会計から補助、負担を受ける予算金額580,574,000円に対し、決算額は535,574,000円で、いずれも予算の範囲内で執行されている。

2 経営状況

(1) 経営成績

損益計算書に示されているとおり(記述並びに図表の数値は消費税抜きの金額で表示しています。)本年度の総収益は1,126,820,238円、総費用1,126,206,541円で純利益613,697円を計上している。

収益、費用を前年度と比較すると、総収益は20,600,031円の減、総費用も20,717,839円の減となり、純利益は前年度より117,808円の増となっている。

医業収支でみると収益576,672,809円に対し、費用は1,033,461,344円で差引456,788,535円の医業収益不足となる。

当年度利益余剰金は、613,697円が計上された。

なお、経営成績及び主な利益指標の推移は次のとおりである。

経営成績の推移

(単位：円・%)

区分	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
総収益	1,126,820,238	1,147,420,269	1,171,870,918	1,158,814,878	1,122,844,899
うち医業収益	576,672,809	592,204,291	707,252,912	663,047,327	598,699,252
総費用	1,126,206,541	1,146,924,380	1,159,398,902	1,143,199,687	1,107,800,614
うち医業費用	1,033,461,344	1,082,023,598	1,097,659,822	1,077,051,251	1,012,561,801
当年度純利益	613,697	495,889	12,472,016	15,615,191	15,044,285
前年度繰越欠損金	-	-	12,147,387	27,762,578	42,806,863
当年度未処理欠損金	-	-	-	12,147,387	27,762,578
当年度利益剰余金	613,697	495,889	324,629	-	-
経常収支比率	100.1	100.0	101.1	101.4	101.4
医業収支比率	55.8	54.7	64.4	61.6	59.1

(数値は消費税抜き)

(2) 業務量(患者数)の状況

患者数は、入院患者が年間延べ12,234人で1日平均33.5人、前年度と比較すると731人減少し、外来患者数は年間33,649人で1日平均137.3人、前年度と比較すると3,465人の減少となっている。

病床利用状況は、利用率55.9%で前年度と比較すると3.3%減少している。

患者一人当たりの診療収入は、入院患者が26,386円で前年度と比較すると2,102円の増加、外来患者は5,857円で前年度と比較すると7円の増加であった。

ア 診療日数

区分	平成26年度(A)	平成25年度(B)	差引(A)-(B)
入院	365	365	0
外来	245	245	0

イ 入院患者数

(単位:人)

区分	平成26年度(A)		平成25年度(B)		差引(A)-(B)	
	延べ数	1日平均	延べ数	1日平均	延べ数	1日平均
内科	11,532	31.6	11,881	32.6	349	1.0
外科	698	1.9	828	2.3	130	0.4
産婦人科	4	0.0	256	0.7	252	0.7
合計	12,234	33.5	12,965	35.5	731	2.0

ウ 病床の利用状況

\* 病床は全て一般病床

区分	平成26年度(A)	平成25年度(B)	差引(A)-(B)
病床数(床)	60	60	0
年間延病床数(床)	21,900	21,900	0
年間患者数(人)	12,234	12,965	731
病床利用率(%)	55.9	59.2	3.3

エ 外来患者数

(単位:人)

区分	平成26年度(A)		平成25年度(B)		差引(A)-(B)	
	延べ数	1日平均	延べ数	1日平均	延べ数	1日平均
内科	23,500	95.9	25,378	103.6	1,878	7.7
外科	8,404	34.3	8,906	36.4	502	2.1
産婦人科	672	2.7	1,524	6.2	852	3.5
小児科	1,073	4.4	1,306	5.3	233	0.9
合計	33,649	137.3	37,114	151.5	3,465	14.2

オ 患者一人1日当り診療収入

(単位:円)

区分	平成26年度(A)	平成25年度(B)	差引(A)-(B)
入院	26,386	24,284	2,102
外来	5,857	5,850	7

(3) 収益

本年度の総収益は、1,126,820,238円で、前年度1,147,420,269円に比較すると20,600,031円の減少となった。

内容は、医業収益が576,672,809円で前年度592,204,291円に比較し、15,531,482円の減となっている。主なものは、外来収益が20,051,975円の減であった。

医業外収益550,147,429円は、前年度555,215,978円に比較し、5,068,549円の減となっている。これは主に他会計補助金28,037,000円の増、他会計負担金38,035,000円の減、また、会計制度見直しによる「みなし償却制度の廃止」に伴い、補助金等で取得した資産は長期前受金に整理され、当該減価償却見合分を収益化するための措置額として5,206,731円を計上したことによる。

収益の内訳

(単位:円・%・消費税抜き)

区分	平成26年度(A)		平成25年度(B)		差引(A)-(B)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年比
医業収益	576,672,809	51.2	592,204,291	51.6	15,531,482	97.4
入院収益	322,803,040	28.7	314,835,765	27.4	7,967,275	102.5
外来収益	197,082,532	17.5	217,134,507	18.9	20,051,975	90.8
その他医業収益	56,787,237	5.0	60,234,019	5.3	3,446,782	94.3
医業外収益	550,147,429	48.8	555,215,978	48.4	5,068,549	99.1
受取利息配当金	4,841,000	0.4	4,531,016	0.4	309,984	106.8
他会計補助金	185,479,000	16.4	157,442,000	13.7	28,037,000	117.8
他会計負担金	350,095,000	31.1	388,130,000	33.8	38,035,000	90.2
患者外給食収益	1,399,259	0.1	1,686,552	0.2	287,293	83.0
長期前受金戻入	5,206,731	0.5	0	0.0	5,206,731	皆増
その他医業外収益	3,126,439	0.3	3,426,410	0.3	299,971	91.2
総収益	1,126,820,238	100.0	1,147,420,269	100.0	20,600,031	98.2

(4) 費用

総費用は、1,126,206,541円で前年度1,146,924,380円に比較すると20,717,839円の減少となった。

内容は、医業費用が1,033,461,344円で前年度1,082,023,598円に比較し、48,562,254円の減となっている。これは主に給与費35,356,715円、材料費8,924,923円、経費3,411,623円、減価償却費893,653円の減によるものである。医業外費用は61,722,914円で前年度58,292,703円に比較し、3,430,211円の増となっている。これは主に雑損失5,172,570円によるものである。また、特別損失のその他特別損失31,022,283円は、会計制度見直しにより、当年度に支給する職員期末勤勉手当及びこれに係る法定福利費の支払のうち、前年度の負担に属する額を計上したことによる。

費用の内訳

(単位：円・%・消費税抜き)

区分	平成26年度(A)		平成25年度(B)		差引(A)-(B)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年比
医業費用	1,033,461,344	91.8	1,082,023,598	94.3	48,562,254	95.5
給与費	713,413,872	63.3	748,770,587	65.3	35,356,715	95.3
材料費	97,525,740	8.7	106,450,663	9.3	8,924,923	91.6
経費	145,714,362	12.9	149,125,985	13.0	3,411,623	97.7
減価償却費	72,660,765	6.5	73,554,418	6.4	893,653	98.8
資産減耗費	174,850	0.0	84,000	0.0	90,850	208.2
研究研修費	3,971,755	0.4	4,037,945	0.3	66,190	98.4
医業外費用	61,722,914	5.5	58,292,703	5.1	3,430,211	105.9
支払利息及び企業債取扱諸費	41,431,202	3.7	44,335,364	3.9	2,904,162	93.4
患者外給食材料費	1,349,074	0.1	1,468,571	0.1	119,497	91.9
消費税及び地方消費税	3,555,100	0.3	2,273,800	0.2	1,281,300	156.4
雑損失	15,387,538	1.4	10,214,968	0.9	5,172,570	150.6
特別損失	31,022,283	2.7	6,608,079	0.6	24,414,204	469.5
その他特別損失	31,022,283	2.7	0	0.6	31,022,283	皆増
過年度損益修正損	0	0.0	6,608,079	0.6	6,608,079	0.0
総費用	1,126,206,541	100.0	1,146,924,380	100.0	20,717,839	98.2

3 財政状況

貸借対照表に示されている資産、負債、資本の内容は次のとおりである。(記述の数値は消費税抜きで表示しています。)

<資産>

本年度の資産総額は、2,403,908,421円で、前年度2,498,424,969円に比較し、94,516,548円減少した。

総資産のうち有形固定資産は、土地、建物、構築物、器械・備品、車両で1,797,913,498円、前年度1,857,653,094円と比較して59,739,596円の減少である。また、会計制度の見直しにより、リース資産が計上されている。無形固定資産は電話加入権388,032円、投資は、一般会計の長期貸付金400,000,000円で、固定資産の合計額は2,198,301,530円となった。

流動資産の合計は205,606,891円で、前年度240,383,843円に比較し34,776,952円の減少である。内訳は、現金・預金は36,835,028円の減、未収金は2,009,424円の増となっている。

<負債>

負債合計1,418,694,353円は、前年度104,843,957円に比較し1,313,850,396円増加している。これは、会計制度の見直しによる、借入資本金制度、みなし償却制度の廃止、リース会計制度の導入等によるものです。

<資本>

資本金は、自己資本金で981,293,371円、みなし償却制度の廃止による、補助金等で取得した除却済資産に対応する収益化相当額80,085,110円及び減債積立金使用額495,889円を組入れたものである。

余剰金は、資本余剰金が3,307,000円で前年度269,032,000円に比較し265,725,000円減少し、利益剰余金が613,697円で前年度495,889円に比較し117,808円増となり、剰余金合計は3,920,697円となっている。

当年度末の資本合計は、借入資本金制度の廃止及びみなし償却制度の廃止による影響により、985,214,068円で前年度2,393,581,012円に比較し1,408,366,944円の減少となった。

## むすび

以上、予算執行、経営状況、財政状況にわたる計数の表示と所見を述べてまいりましたが、総括として次のとおり審査結果意見を申し上げます。

平成26年度病院事業は、町民の健康保持に必要な医療を提供するため、内科、外科、産婦人科、小児科、リハビリテーション科により、その経営に当たっている。

当年度の業務量は、入院延患者数12,234人(前年度12,965人)、外来延患者数33,649人(前年度37,114人)で、前年度と比較すると入院は731人の減少、外来で3,465人の大幅な減少となった。

これらに従事する職員は、平成27年3月31日現在、88人(内27人は非常勤・臨時職員)で、前年度比較では3人(内2人は非常勤・臨時職員)が減員となっている。

経営成績は、総収益1,126,820,238円、総費用1,126,206,541円で差引純利益613,697円が計上された。

医業収益では、医業収益576,672,809円、医業費用1,033,461,344円で、差引456,788,535円費用が上回っているが、一般会計からの補助金と負担金535,574,000円(前年度545,572,000円)を主なものとする医業外収益によって、当年度純利益613,697円が計上され、減債積立金として処分された。

医業収益は前年度比97.4%であり、これは入院収益が看護体制10対1で推移したため前年度比102.5%であったが、外来収益で患者数の減少により前年度比90.8%が要因であります。医業費用は前年度比95.5%で人件費の減少が主であります。

医業収支は、患者数、入院基本料等の変動がより大きく影響を及ぼすことから、医師、看護師、病院職員が一丸となって医業収益の確保、更には病院経営の安定に引続き努力されることを期待する。

資本的収支については、器械、備品購入、企業債償還金等の資本的支出額99,707,194円執行されており、過年度分損益勘定留保資金99,211,305円、減債積立金495,889円で補てんされている。

また、入院料など未収金が増加傾向にあることから収納対策に努力されたい。

自治体病院を取り巻く医療環境は、医師及び看護師の確保、診療報酬改定等で厳しい状況にありますが、自治体病院は「地域住民の命、健康、暮らしを守る」地域の財産であることから、病院関係者をはじめ行政や住民が一体となって安心して受診できる病院づくりに取り組み、住民の期待に応えることができるよう、一層の経営努力を望む。